

令和5年度事業報告

事業概要

シルバー人材センターの公益目的事業の実現のため、シルバー事業の根幹である会員増強と、就業機会の確保・提供並びに、安全・適正就業の徹底を最重要課題に掲げ令和5年度事業を行いました。

今年度においては、令和2年度の初めから世界を震撼させている新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたものの、その余波によりコロナ禍以前のような事業活動を行うことは未だ難しく、その活動に制限をかけることを余儀なくされました。会員数では前年度対比15人の減、受託事業及び労働者派遣事業を含めた全受託事業契約においても前年度対比2.6%減の80,279,537円の事業実績となりました。

事業実績報告

事業計画に基づき、以下の事業を実施しました。

(1) 会員の確保、増強

センターの根幹である会員数の増強を目標に、会員の勧誘、会員による紹介、会員役職員による口コミ運動等を実施し、また退会者の抑制にも努めましたが、前年度比15人の減員となりました。

・年度末会員数 182人（男性125人、女性57人）

（前年度対比15人の減員 内訳：男性7人減、女性8人減）

(2) 就業機会の確保と提供

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの受託事業及び派遣事業実績は以下のとおりです。

		(前年度実績)
1. 会員数	182人	(197人)
2. 受託事業件数	1,866件	(2,063件)
派遣事業件数	131件	(108件)
3. 受託就業延人員	13,293人	(14,991人)
派遣受託延人員	2,017人	(1,835人)
4. 受託契約金額	63,776,555円	(67,955,519円)
派遣契約金額	16,502,982円	(14,439,481円)

事業実施報告

1. 就業機会提供事業

(1) 就業機会の提供

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な仕事を一般家庭、民間企業、官公庁等から請負により引き受け、会員に対し就業機会の提供に努めました。しかしながら、受託事業実績の受注件数では、前年度対比 197 件の減、就業延人員でも 1,698 人の減となりました。また、契約金額でも前年度対比 93.8%、約 417 万円の減額となりました。この要因は、会員数の減少及び高齢化による受注件数の減少に加え、冬期間の降雪量が例年よりも大幅に少なかったことにより除雪業務受注件数が減少したことによるものです。

(2) 労働者派遣事業

臨時的かつ短期的な業務に係る派遣労働者又はその他の軽易な業務に係る派遣労働を希望する会員を対象に労働者派遣事業を行いました。

派遣事業実績は、前年度に比べ件数では 23 件の増、就業延人員では、182 人の増となっています。契約金額は合計で、約 1,650 万円、前年度対比 114%、約 206 万円の増額となりました。新たな派遣先への継続的な就業機会を得ることができ、実績の増加へ結びつきました。

2. 就業機会確保事業

(1) 安全・適正対策推進事業

事故撲滅、事故件数 0 件を目標に掲げ安全就業に努めました。

重点項目では、何より健康第一を掲げているため、健康維持及び健康診断受診の推進、安全講習会の開催、安全委員による安全巡回指導の徹底、刈払機用カルマー及びバリカン式草刈機使用の推進、飛散防止のための防護ネット利用の推進、剪定などでの脚立の使用に関する注意喚起、熱中症対策及び蜂刺され防止の呼掛けと、注意喚起などを推し進めました。その結果として、特に事故の発生しやすい草刈り作業や剪定作業による事故は 0 件となりました。しかし残念なことに令和 5 年度においても総事故件数を 0 件とすることはできず、計 3 件の事故が発生しました。

- ・ 傷害事故 : 1 件
- ・ 賠償事故 : 2 件

(2) 普及啓発活動及び就業機会の提供

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたため、コロナ禍以前よりも規模は縮小したものの、普及啓発活動を実施しました。春には、黒石さくらまつり開催に先立ち東公園内の清掃奉仕活動を行うことで、地域貢献をするとともにシルバー人材センター事業のPRを行いました。また、秋には「シルバーの日」を活用し、駅前公園を清掃するとともに、市民へ手渡しによるチラシ配布や近隣住宅へのポスティングを行い、シルバー人材センター事業への理解と普及啓発に努めました。加えて、黒石市において秋に開催された「黒石りんごまつり」へ参加し、来客者へチラシの配布、ポスター・展示物を活用したシルバー事業の説明を行うことで普及啓発活動に努めました。

また、高齢者にふさわしい就業機会を提供するため、会員の希望、知識、経験等を就業希望調査で把握し、個々の希望に沿うように検討しながらグループ就業やローテーション就業を推進させました。また、受注拡大のため会員、役員が出来る範囲で就業開拓運動を実施しました。

(3) 福祉・家事援助サービス事業

高齢者世帯や一人暮らし世帯など、日常生活で困っている物事に対し、会員が迅速に駆けつけ、対応あるいは判断することでシルバー人材センターの価値を高める活動を展開させました。また、通院の際、人手不足により家族やヘルパーなどの付き添える人がいない高齢者世帯の依頼者に対し、専門知識を持った会員が親身に寄り添う就業を重ね、発注者に不安を与えない就業を展開させました。

(4) 会員数拡大の強化

最重要課題である会員拡大については、口コミによる「一会員一人獲得運動」を継続展開させました。それに併せて、今年度も新会員を紹介した場合、会費割引制度を適用しました。また、入会説明会は、希望者が訪れた際その都度行い、新規会員の入会促進に努めました。以上、会員数拡大の強化を行い、その結果14名の新規会員の入会がありました。しかし、在籍会員の高齢化に伴い、加齢や病気等の理由により、退会者が増加し、前年度比15人の減少となりました。

(5) 組織体制の強化

公益社団法人としての組織体制を強化するために、引き続き理事会をはじめとする各種委員会との協力のもと、事業を実施し、より公正で公平な事業運営となるよう努めました。また、環境の変化とともに、多種多様となった地域ニーズへ応え信頼されるために、各関係機関及び会員との密接な連携のもと、事業を実施いたしました。